

2025 年度地域医療セミナー 開催要項

1. テーマ「地域医療構想の現状と 2040 年にむけた今後の展望

～医療現場の人材育成と労働環境改善を考える～

<開催趣旨>

現在、日本の地域医療は人口減少や高齢化、医療人材の慢性的な不足、そして物価・人件費高騰によって厳しい病院経営に直面しています。また、2040 年を見据えた医療体制の再構築が求められる中で、医療現場における人員確保と人材育成、賃金・労働環境の改善が地域医療の持続可能性を支える上で重要となります。

このセミナーでは、「地域医療構想の現状と 2040 年にむけた今後の展望」をテーマに、医療現場の現状を共有するとともに、その課題を解決するための具体的な取り組みについて議論します。初日となる全体会では、地域医療構想の進展や公立病院における医療 DX 推進の状況、災害時における公立病院の役割について講演や報告をいただき、地域医療の現状と今後の課題について考えます。さらに、組織内国会議員からの活動報告を通じて、医療現場の課題について国の動きや国会議員の役割について共有します。

二日目の分科会では、看護師分科会とコ・メディカル分科会において、医療現場の抱える労働環境やキャリアアップの課題を掘り下げ、職場の人員確保や賃金・労働条件の改善にむけた具体策を議論します。医療政策分科会では、公立病院の経営改善にむけた知識を深めるために病院経営に関する指標を把握・分析できるようにします。

本セミナーを通じて、医療現場のすべての職種が連携し、地域医療の持続可能な発展にむけて具体的な行動を起こす契機とすることをめざします。人員確保や賃金・労働環境の改善の施策を共有し、病院経営も注視した上で、人員確保や労働環境の整備等、組合員が抱える課題解決にむけ、交渉力の底上げにつなげたいと考えます。

【第 1 日目（全体会）】 2025 年 2 月 22 日（土） 13：00～17：45

<スケジュール>

12：30～13：00 受付開始・接続テスト

13：00～13：15 開会・あいさつ（小森議長、山崎副委員長）

13：15～13：50 情勢報告と基調提起

衛生医療評議会事務局長 平山春樹

13：50～15：00 講演「新たな地域医療構想について（仮）」

厚生労働省 調整中

15：00～15：15 休 憩

15：15～16：20 講演「公立病院における医療 DX の推進について（仮）」

島根県公立邑智病院副院長（兼）事務部長、企画調整課長事務取扱 日高 武英さん

16：20～17：00 報告「能登半島地震で見た医療現場の課題と公立病院の役割（仮）」

石川県本部 珠洲市職員組合（珠洲市総合病院）菊谷 祐介さん

17：00～17：30 国会レポート「衛生医療評議会に関連する活動報告」

自治労協力国会議員 参議院議員 岸 まきこさん

17：30～17：45 まとめ・休会

【第2日目（分科会）】2025年2月23日（日）9：30～13：00

◆看護師分科会

テーマ「看護師あるあるから職場の課題を考えよう」

<趣旨>

2019年4月に働き方改革関連法が施行されて以降、時間外労働の上限規制、年5日の年次有給休暇の取得義務化、同一労働同一賃金の取り組みが国をあげて行われてきました。2024年4月からは医師にも時間外労働の上限規制が適用されるなど、近年、医療現場でも医師や看護師をはじめとする医療従事者の働き方改革が強く求められる状況にあります。とくに医療人材の確保が困難な状況下で、看護師が直面する労働条件の厳しさが指摘されています。

日本看護協会が2021年に発表した「就業継続が可能な看護職の働き方の提案」によれば、長時間労働や前残業、持ち帰り業務、夜勤負担、未払い残業の常態化、ハラスメント、評価の不公平さなど、多くの課題が浮き彫りになっています。これらの問題により、看護師は仕事のコントロール感を失い、モチベーションの低下や離職のリスクが高まっています。

本分科会では、「看護師あるあるから職場の課題を考えよう」をテーマに、看護師が日々感じている「あるある」を起点として、現場の課題を掘り下げていきます。

上記の課題に対して、看護問題対策委員会からの提起と元労働基準監督署長の講演を基にグループワークを行い、医療現場の実態を共有し、持続可能で安心して働ける環境づくりにむけた方策を考えていきます。参加者の経験や意見を共有し、新たな視点や解決策を見出す場とすることで労働環境改善にむけた運動につなげます。

<スケジュール>

9：00～9：30 会場受付

9：30～9：35 開会・あいさつ

9：35～9：45 看護問題対策委員会活動報告

看護問題対策委員 松川 誠 治さん

9：45～9：55 看護問題対策委員会提起

看護問題対策委員 柴田 直 希さん

9：55～10：55 講演「労働基準監督署の役割と医療現場の課題」

尾形メンタルサポート代表（元奈良労働基準監督署長） 尾形 賢 一さん

（休憩）

11：05～12：15 グループワーク

12：15～12：50 グループワーク報告・質疑応答

12：50～13：00 まとめ・閉会

◆医療政策分科会

テーマ：「みんなで学ぼう、公立病院の経営改善」

<趣旨>

現在、全国のさまざまな職場で人件費の増加、物価高騰、エネルギー価格の上昇といった厳しい状況が続いています。この影響を受け、多くの公立病院が経営悪化の危機に直面し、黒字から赤字へと転じる事例も増えています。このような経営状況の悪化は、地域医療の基盤を揺るがし、地域住民や病院で働く私たちに深刻な影響を及ぼします。こうした課題に対処するためには、経営者だけでなく、現場で働く職員一人ひとりが病院経営に関する基本的な知識を持つことが重要です。職員が経営を理解し、課題解決にむけて経営陣と協力することは、健全な病院運営への第一歩となります。

本セミナーでは、公営企業年鑑のデータを活用し、全国の公立病院の経営状況やその背景にある課題を把握する手法を学びます。また、総務省により策定を求められた「公立病院経営強化プラン」の内容についても理解を深め、経営改善にむけた具体的な方針や施策を検討します。本セミナーを通じて、参加者が公立病院の経営課題を共有し、それらを乗り越えるための実践的な知識を習得することめざします。そして、病院経営の改善にむけて「みんなで取り組む」姿勢を育む機会としたいと考えています。

<スケジュール>

9：00～9：30 受付

9：30～ 開会・挨拶

9：35 講演「公立病院の経営改善について（仮）」＋質疑

NP0 法人病院経営支援機構理事長 合谷 貴史さん

(休憩)

10：45

実習「公営企業年鑑の見方と活用（仮）」実習＋質疑

NP0 法人病院経営支援機構理事長 合谷 貴史さん

12：45 講評・まとめ

13：00 閉会

◆コ・メディカル分科会

テーマ「医療技術職の労働環境改善とキャリアアップ戦略」

<趣旨>

医療現場において、コ・メディカル（医療技術職）は医療の質と安全を支える重要な役割を担っています。しかし、賃金の課題や人員確保が難しいなどさまざまな問題があり、医療技術職の処遇改善が求められています。また病院給食は業務委託が進んでいますが、再度直営にしている病院もあります。

本分科会では、医療技術職の労働環境改善とキャリアアップに焦点を当て、現場が抱える課題とその解決策について議論します。医療技術職のポスト確保や人員増加、中途採用者の

待遇改善などについて議論します。とくに、ポストの確保や人員要求の具体的な手法、前歴換算に関する課題など、医療技術職が直面する現実的な問題を取り上げ、その解決にむけたアイデアを共有します。また、病院給食は業務委託されている病院が多く、直営で運営している病院から直営の意義について考えていきます。

また、グループワークを通じて、参加者同士が意見を交換し、労働環境改善にむけた新たな提案や行動計画を共に考えます。本セミナーでは、医療技術職がより良い職場で働き続けられるよう、今後の賃金改善やキャリアアップ、人員確保にむけた具体的な取り組みにつながることをめざします。

<スケジュール>

9：00～9：30 会場受付

9：30～9：35 開会・あいさつ

9：35～10：11：05 コ・メディカル委員会提起

「医療技術職のポストの課題」

広島県本部 世羅中央病院労働組合 草井 昭紀さん

「人員要求の仕方について」

千葉県本部 千葉市職員労働組合（千葉市立青葉病院） 藤崎 和仁さん

「中途採用者の前歴換算について」

富山県本部 富山県職員労働組合（富山県立中央病院） 竹本 昌平さん

「給食調理員の現場課題と取り組み」

島根県本部 雲南市立病院労働組合 神田 治さん

11：05～11：40 パネルディスカッションと質疑応答
(休憩)

11：50～12：50 グループワーク

12：50～13：00 まとめ・閉会